

阪神・淡路大震災 19 年記念講演会 神大生へのメッセージ

生きてこそ~1.17 を忘れない

阪神・淡路大震災から間もなく 19 年を迎えます。目に見える傷跡は無くなっても、人の心に与えた傷は何年経っても癒えません。

阪神・淡路大震災で、神戸大学生の上野志乃さん（当時発達科学部・2年）を亡くされたお父さんの上野政志さんに、命の大切さ、震災のことを忘れないことの大切さについてお話しいただきます。神戸大学生の皆さんはぜひお越しください。



日 時:2014 年 1 月 14 日(火) 18:00~20:00

会 場:神戸大学国際文化学部 C202 教室

講 師:上野 政志さん

兵庫県佐用郡佐用町の久崎小学校教諭。長女・志乃さん（当時 20 歳）を 1995 年 1 月 17 日に起きた阪神・淡路大震災で亡くした。「なぜあそこに下宿させたのか」「なぜ家に引き留めなかったか」後悔は募る。その後、震災も娘のことも忘れてほしくない、体験を語ってきた。「娘を知ってもらふことで、ふと娘が活着ているように思える瞬間がある」。私たちが話を聞くこと、忘れないことが上野さんを支える。

主催：神戸大学学生震災救援隊

共催：神戸大学学生ボランティア支援室

※参加費無料、事前申込不要、学外者参加可

お問い合わせ：078-803-6256（学生ボランティア支援室）

E-mail：hq-vol@lab.kobe-u.ac.jp

